

目次 Contents

- | | | | |
|----|-----------------------|----|---------------|
| 3 | ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度 | 22 | 保健便り |
| 4 | 生涯学習だより | 23 | みんなで救急医療を守ろう！ |
| 6 | まちの話題 | 27 | 国民年金だより |
| 9 | 教育のつどいを開催しました | 28 | 環境トピックス |
| 10 | 仁良川地区宅地公売 新規物件追加！ | 31 | 障がい福祉瓦版 |
| 12 | レッツスポーツ | 32 | くらしの情報 |
| 16 | 第4回 ツール・ド・とちぎ | 46 | 3月のカレンダー |
| 18 | 新・下野市風土記 | 47 | 国際交流員カロリンのコラム |
| 19 | 天平の花まつり | 48 | イベントカレンダー |
| 20 | 図書館だより | | |

今月の表紙

「まろに☆え～る」のひな祭り

今月の表紙は、とちぎテレビのアイドルキャラクターユニット「まろに☆え～る」の皆さんが、ひな祭りにちなんだ装いで登場です。

お雛さま役は、「まろに☆え～る」のかんぴょう宣伝担当であり、下野市の観光大使でもある「瓜田瑠梨」さんです。トレードマークのポニーテールではなく、髪を下ろしての十二単姿が新鮮ですね。三人官女に扮した「春崎野乃花」さんと「堤愛実」

さんの十二単の模様は、下野国分尼寺跡から発掘されたあぶみ瓦を連想させます。また、2人の足元で三色団子と桜餅を両手にはしゃいでいるのは、下野市が生産量日本一を誇るかんぴょうの妖精「かぴょん」です。

「輝け！下野エール大使」を務める漫画家、一葵さやか先生に描き下ろしていただき、桃の節句にふさわしい華やかな表紙になりました。

今月の何の日

3月2日 遠山の金さんの日

1840（天保11）年のこの日、遠山の金さんと遠山景元が北町奉行に任命されたことに由来しています。遠山の金さんといえば、遊び人になりすまして事件現場に潜入したり、名裁きで鮮やかに難事件を解決したりする痛快なテレビドラマ等の印象が強いですが、実際の遠山景元がどのような人物だったかご存知ですか？

景元は、1793（寛政5）年、長崎奉行だった父のもとに生まれました。義理の叔父が父の養子になったり、その叔父の養子にされたりと複雑な家庭環境だったことから、青年期には家出して放蕩生活を送りました。そのときに、有名な桜吹雪の彫り物を入れたのだといわれています。

景元が北町奉行に就任したころ、幕府の財政難を立て直そうと実施された天保の改革で、町人たちに贅沢を禁止する命令が出されました。

しかし、景元は、町人の生活を脅かすような改革には反対し、老中の水野忠邦らと対立しました。その中で、庶民の娯楽を守ろうと芝居小屋を廃止の危機から救ったことから、感謝した関係者が「遠山の金さん」ものを上演し、やがて景元の死後、講談や歌舞伎で、今でもおなじみの基本的な物語のパターンが作り上げられていきました。

テレビドラマのように桜吹雪の彫り物もあらわに悪人たちをなぎ倒しこそしません、現実の遠山の金さんも、正義の味方だったようですね。

■人口と世帯（2月1日現在）

人口／60,277人（+23）、男性／29,963人（+36）、女性／30,314（-13）、世帯数／24,370世帯（+46）

